

- ・ 医療施設、社会福祉施設等、水道施設の災害への対応の強化により、国土強靱化施策を実施
- ・ 地震、大雨等の災害で、実際に被害を事前に食い止め、国民の命や生活を守る効果を発揮しており、今後、さらに推進する必要

## 医療施設の耐災害性強化

## 社会福祉施設等の耐災害性強化

## 水道施設の耐震化対策

**概要：**災害拠点病院等に対し、停電の際、事業の継続を可能とするため、非常用自家発電設備の設置経費の一部を支援。

**概要：**高齢者施設等に対し、停電の際、事業の継続を可能とするため、非常用自家発電設備整備の設置経費の一部を支援。

**概要：**上水道の基幹管路（導水管・送水管・配水本管）の耐震化を図ることで、水道の耐災害性を強化し、災害時における大規模かつ長期的な断水のリスクを軽減。

**効果：**災害により長期の停電が発生した場合においても、災害拠点病院等で診療機能を維持することが可能となった。

**効果：**「令和4年8月3日からの大雨等による災害」の停電時も、高齢者施設において、常時酸素吸入が必要な入所者に対し、必要な医療的対応を継続できた。

**効果：**石川県珠洲市三崎地区では、昭和47年度頃<sup>すず</sup>に布設された石綿セメント管の老朽化が進み、耐震強度も低いため、耐震管に布設替えした。令和4年6月19日に発生した地震(震度6弱、M5.2)において、対策箇所の被害はなかった。

【久留米大学病院の事例】

【特別養護老人ホーム「マイスカイ中山」の事例】

【石川県珠洲市の事例】

着工前

完成後

